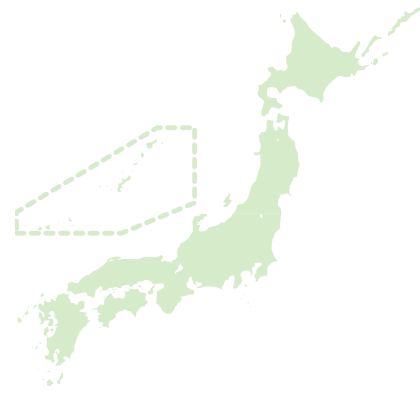


令和3年度

「言語聴覚の日」イベント 報告



佐賀県

私たち言語聴覚士にとって大切な記念日である9月1日の「言語聴覚の日」には、当会でも例年、県内の大型商業施設等でイベントを開催してきましたが、昨今の新型コロナウイルス感染症の拡大によって、現行での実施は困難となりました。

その中で、今年度は新しい形で市民の皆様へ還元できることはないだろうか話し合いを重ね、他県士会の取り組みなどを参考に、コロナ禍における新しい試みとして、

図書館や施設への本の寄贈を企画しました。本の選定は約220名の県士会会員を対象に、初めてSNSを導入したコロナ禍でのアンケート調査（指1本で配布、参加、集計）にて行いました。

医療・介護・福祉・教育現場で働く県士会会員の思いの詰まった40冊以上の珠玉の書籍は、「武雄市立図書館」と、放課後デイサービス「こどもひろば」に厳選、寄贈することができました。

また、これらの取り組みは、各種ニュースサイトや地方新聞にも掲載され、多くの方から反響をいただきました。

難しい社会の状況ではありますが、どのような形でも市民の皆様へ寄り添い、今後も職能活動を続けていけることを願っています。

最後になりましたが、今回のアイデアや様々なアドバイスをいただきました

山梨県言語聴覚士会様や会長の内山量史先生、そして寄贈にご協力いただきました団体の皆様へ心より感謝申し上げます。

佐賀県言語聴覚士会
社会職能局：田中愛子



こどもひろば



新聞掲載